



発行責任者

猪股 英介

『 結果を変える1パーセント 』

教頭 朝長 芳卓

私が大好きなゆずの“栄光の架橋”という歌は、「誰にも見せない泪があった。人知れずに流した泪があった。」から始まります。努力を尊び、夢を応援する歌ですが、この歌詞を聞くと、努力する行為自体は他人からも見えるが、その夢は見せないもの、その心は見えないものだという事に気づかされます。

さて、努力することということについて、先日、五島高校は鍛えられる学校だという話を卒業生から伺いました。本校では保護者から将来の進路のために鍛えてほしいという言葉をいただく一方で、生徒からは宿題が多くて大変という言葉をよく聞きます。「鍛える」という言葉は、金属を繰り返し打つことで硬度や密度などを高め、良質のものにすること。練習・修練を繰り返し、技術や身体・精神をしっかりしたものにすることを意味します。鍛えることとは繰り返すことで、価値を高めることのようにです。

他に努力に関する有名な言葉として、発明王トーマス・エジソンの「天才とは、1%のひらめきと99%の努力である」があります。この言葉を聞いてどのように感じますか。多くの人は、99%も占める「努力」の大切さを訴えていると感じるのではないのでしょうか。実際にエジソンはとても勤勉でした。「私は失敗したことがない。ただ、1万通りのうまくいかない方法を発見しただけだ」という彼のことは、彼の計り知れない努力、研究の繰り返しから出てくる言葉だと思います。99%の努力は彼を裏切らず、大きな成功に導いたという捉え方です。

しかし、エジソンの言葉は「1%のひらめきがなければ、99%の努力が無駄になる」という意味だという人もいます。この場合、エジソンにとっての「ひらめき」とは何だったのでしょうか。常人にはない突飛な発想のことでしょうか。私は、エジソンの「ひらめき」とは研究に対する「熱意」だったと思います。意味ある発想（アイディア）はそれを裏打ちする知識がなければ出て来るものではないし、結果につながる発想は、数多くの試行錯誤を経て得られるものだからです。

五高生は、文武両道を目指し、勉強も部活動も手を抜かず、日々努力することをモットーとしています。日々宿題と部活動の繰り返し。五高生は誰でも「鍛練」「99%の努力」を手にしています。あとは「ひらめき」があるかどうかです。五高生にとって、1%のひらめきとは何でしょうか。成功した先輩方には、鍛練を乗り越える意思、すなわち五高生としての誇りがありました。

努力しない五高生はいません。あとは「熱意」「夢」「誇り」などの見えない心の差が結果を左右するのではないのでしょうか。少なくとも「鍛える」と「鍛えられる」という0.1%の差を乗り越える意識改革から始めてほしいと思います。

「本物は続く、続ければ本物になる」 続ける力はあなたの意志の力

芸術鑑賞会

10月26日（水）福江文化会館にて、五島海陽高校と合同で芸術鑑賞会を実施いたしました。今年度は三遊亭円馬様、笑福亭たま様、春風亭かけ橋様、ラッキー舞様にお越しいただき、落語を鑑賞しました。



福江みなとまつり

10月29日（土）・30日（日）の2日間、3年ぶりに福江みなとまつりが実施されました。同窓会の方々が本校のねぶたの修繕をして下さり、生徒・保護者・職員121名でねぶたを曳くことができました。



長崎県高等学校駅伝競走大会

11月2日（水）に行われた県高校駅伝では、応援ありがとうございました。今年は2年ぶりに雲仙・小浜マラソンコースで大会が開催されました。本場、小浜での大会を知らない選手が多い中、3年生2名を中心に気持ちを高め合いながら本番を迎えました。例年になく気温が高い大会となりましたが、女子5区間、男子7区間襷を胸に走り抜け、女子は去年の15位から9位に躍進、男子は10位から11位という結果でした。来年は今年以上の思いをつなぐ襷リレーが展開できるよう頑張ります。

バラモンプラン発表会

11月4日（金）に第2学年バラモンプラン発表会が実施されました。これまで研究してきたプロジェクトについて、プレゼンテーションやポスターセッションで発表を行いました。今回の発表会の経験を活かして、これからの探究活動を充実させていきたいと思ひます。



准看護師資格試験100日前集会

11月7日（月）に准看護師資格試験100日前集会が開催され、3年6組23名に対し、校長先生をはじめ、学年主任の辻先生、進路主任の本多先生、そして後輩から激励の言葉が寄せられました。

3年生代表の磯邊広樹さんからは、「1年間の病院実習を終えて、受け持ちの患者様や指導者さんからは疾患に関わる知識や看護技術だけを学んできたわけではない。“一つのこと＝准看護師資格試験全員合格”を成し遂げるために自分自身に何が必要で、どのような行動をするべきかを学んできたはず。今日のこの集会を機に100日後、心身ともにベストな状況で受験できるよう各々が意識し、今を大切に行動に移していきたい。」という決意表明がありました。3年生にとって資格試験に向け、気持ちの持ち方やその場に居合わせた全員に対して誓うことで最後まで頑張り抜く原動力となる集会となりました。

人生の達人セミナー

去る11月8日（火）、東京石城会会長 高橋 徹 様を講師にお招きし、「人生は感謝感激 感動！！」の演題で講演をしていただきました。これまで高橋様が歩んでこられた人生経験にもとづく内容で、「辛いこともあったが、家族や故郷があるから頑張れた。会社を経営する中で倒産しそうになったこともあったが、この経験から学ぶことが多くあった。人生万事塞翁が馬である。何があるか分からない。一つ一つのことに一生懸命頑張っていれば、チャンスが訪れる。そのチャンスを逃さず掴んだ人が成功する。」などのお話をいただきました。講演後は生徒たちからの質問もあり、活気にあふれた講演会となりました。高橋様、ありがとうございました。

国税庁長官表彰

11月15日（火）、税務署関係の方々が来校され、「租税教育推進校」および「税に関する高校生の作文」の表彰式が行われました。「租税教育推進校」制度とは、租税教育の推進に功績のあった学校等に対し表彰されるものであり、中でも本校は全国で24校のみの「国税庁長官表彰」を受賞しました。また、「税に関する高校生の作文」は、福岡国税局長賞をはじめ、本校から7名の生徒が入賞し表彰を受けました。受賞者は、税や財政について自らの考えや意見を評価されるいい機会となったほか、全校生徒に対しても大きな刺激となりました。

【受賞者】

福岡国税局長賞：田中 陸（1年1組）

福江税務署長賞：坂下 弘典（1年4組）

長崎租税教育推進協議会代表幹事賞：錦織 亜柚（1年1組）

五島市長賞：鍋内 楓蓮（1年4組）

福江税務署管内納税貯蓄組合連合会会長賞：的野 心美（1年4組）

福江商工会議所長賞：田中 翠葵（1年1組）

福江青色申告会会長賞：井川 菜乃香（1年2組）

